

◆ 関西外国語大学 国際言語学部 教授

米山 敬子 (よねやま たかこ)

○ 略歴：

- ・ 1986年 甲南大学大学院人文科学研究科国文学専攻博士後期課程単位取得満期退学
- ・ 1987年 関西外国語短期大学（現短期大学部）講師
- ・ 2004年 関西外国語大学国際言語学部助教授
- ・ 2005年 関西外国語大学国際言語学部教授～現在

○ 主な学会活動：日本歌謡学会・万葉学会・日本語学会・訓点語学会・和漢比較文学会

○ 講演題目： 『国語』と『日本語』のはざままで

○ 講演概要：

現在、日本に長期滞在する外国人が増え、その子どもたちへの日本語教育の充実が急務となっています。また、大規模災害における被災外国人への「やさしい日本語」による支援の提供という取り組みも試みられています。一方、日本語話者の子どもたちに対しても、「ことばの力」とか「言語力」「日本語力」などと称して、語彙力や読解力を強化しようという取り組みが活発化しつつあります。こういった流れは、総じて「国語」ではなく「日本語」という土俵で行われています。2000年前後には、国語学会をはじめとして各大学の国語国文学科もその名称を「日本語学会」「日本語日本文学科」などに改めました。世を挙げて「日本語」ブームと言えそうですが、では「国語」とはいったいなんなのでしょう。外国語大学の教壇に立ちながら日々向かい合うこの問いを、皆さんと共に考えてみたいと思います。